



2013年度 研究費関係説明会

期 日 : 7月31日 (水) 13:40~14:20
8月 1日 (木) 13:00~13:40

会 場: Q棟センターホール

次 第

1. 挨拶

2. 2014年度研究助成の公募について

**3. 研究費ハンドブックの変更点について
(執行方法等)**

4. その他

5. 質疑応答

2. 2014年度研究助成の 公募について

研究助成運用基準を全面改正



**本学の研究活動のより一層の推進・
充実及び採択率の向上を図る。**

変更事由

- 1) 現在の研究種目（課題研究助成、研究備品購入助成、ソフトウェア購入助成）の整理をすることで、研究予算の効果的執行を図る。
- 2) 科研費への再申請の意思を有する
研究を支援することで、採択率の向上を図る。

変 更 点

I 研究助成の種目

II 予算額

III 申請期間

I 研究助成の種目

1. 課題研究助成

本学における教育の充実のために、課題を設定して個別にまたは共同して行う研究に対して研究費を助成。

- ①学術的および独創的な成果を目的とする研究
- ②教育やFDなど実践的な成果を目的とする研究
- ③地域連携に資する研究
- ④大学が指定するテーマにかかわる研究

2. 特別奨励研究助成

科学研究費助成事業(以下、科研費)への申請を促進するため、研究代表者として科研費へ申請し、不採択となった研究で、次年度に同様の申請を行う研究に対して研究費を助成

(研究備品購入助成、ソフトウェア購入助成を廃止)
→ 課題研究助成へ統合

Ⅱ 予算額（原則）

1）課題研究助成：700万円
（継続を含む）

2）特別奨励研究助成：300万円

Ⅲ 申請期間

各助成にて説明

Ⅱ 課題研究助成公募概要

1. 申請期間

- **第Ⅰ期**：2013年11月18日（月）
～2013年12月6日（金）
- **第Ⅱ期**：2014年04月14日（月）
～2014年05月7日（水）

2. 申請資格

本学専任教員

3. 申請制限

- 1) 研究代表者として、連続しての申請
(継続申請を含む)は3年を限度。**
- 2) 研究代表者としての申請は、1年度に1件。**
- 3) 特別奨励研究助成へ申請した研究課題と
同一の課題は認めない。**

4. 種類

課題研究助成の種類は、次の2種類。

1) 各個研究

研究代表者が自ら行う研究

2) 共同研究

研究代表者および研究分担者が共同で行う研究

研究代表者：本学専任教員で、研究計画の遂行に関してすべての責任を持つ者

5. 交付上限額

1) 各個研究

各年度40万円以内、総額120万円以内

2) 共同研究

各年度100万円以内、総額300万円以内

6. 申請方法

次の書類を申請期間内に教学事務室
研究支援係まで提出。

- 1) 課題研究助成新規申請書
- 2) 研究分担者承諾書（共同研究のみ）
- 3) 見積書（備品のみ。10万円以上は2社以上）
- 4) その他研究予算委員会が必要
とする書類

7. 新規申請書記入上の留意点

申請書、様式を改変せず、原則として明朝体（11ポイント以上）を使用してください。

「課題研究助成 新規申請書－1」

Ⅲ 特別奨励研究助成公募概要 (新 規)

1. 申請期間

2014年4月14日 (月)

～2014年5月7日 (水)

2. 申請資格

本学専任教員で、次の全ての要件を満たす者

- 1) 研究代表者として2014年度科研費へ申請し、不採択となった者
- 2) 2014年度科研費の審査結果において、およその順位が「A」または「B」であった者
- 3) 2014年度科研費（継続分を含む）において、研究代表者として採択されていない者（研究成果公開促進費を除く）
- 4) 2014年度科研費申請時と同様の研究課題で、2015年度科研費に申請予定の者

3. 申請制限

- 1) 連続しての申請は2回を限度。
- 2) 申請は、1年度に1件。

4. 交付上限額

原則として40万円以内。

5. 研究期間

1年（採択年度内）

6. 申請方法

次の書類を申請期間内に教学事務室
研究支援係に提出

- 1) 特別奨励研究助成新規申請書
- 2) 2014年度科研費研究計画調書（写）
- 3) 文科省または日本学術振興会から開示された審査結果（写）
- 4) 見積書（備品のみ。10万円以上は2社以上）
- 5) その他研究予算委員会が必要とする書類

7. 新規申請書記入上の留意点

申請書は、様式を改変（ページ追加等含む）せず、原則として明朝体（11ポイント以上）を使用してください。

「特別奨励研究助成 新規申請書－1」

3. 研究費ハンドブックの変更点について

2. 課題研究費概要 (p.3)

(1)課題研究費

3)地域連携に資する研究

(4)執行の制限

院生の研修出張費：20万円以内

3. 科研費概要 (p.5)

(5)残額管理

科研費プロ (2013年度導入)

Ⅲ. 費目別留意事項（追加）

(1)対象経費（p.15）

3)必要経費

4)海外旅行傷害保険掛金

(5)交通費、宿泊費および日当（p.16）
（規程の変更に伴う金額の変更）

1)国内

2)国外

5. 雑費 (説明の追加) (p.23)

4) 賃借料

7) 労務費

4. その他

科研費等外部資金 間接経費による 研究環境整備について

No.	機器等名称	型式等	主な機能	員数	設置（貸出）場所
1	大判プリンター	I7°ソ SC-T5050	最大A0版印刷	1	F棟ラウンジ 会議室
2	製本機	ナカハシトジスターNB-200	最厚5cm綴	1	N棟ラウンジ 印刷室
3	ICレコーダー	オリンパスV-801	USBデータ接続	3	研究支援係
4	タブレット	iPad WiFiモデル（64GB）	—	2	研究支援係
5	モバイルルーター	DIS mobile WiMAXパック	—	1	研究支援係



ご静聴ありがとうございました

**※説明資料は研究支援係ＨＰにて
公開いたします。**